



応募名称

# 循環型社会を目指した取組 ～バイオガスプラント～

会社名、事業場名

生活協同組合コープさっぽろ  
北海道札幌市 / <http://www.enecoop.jp/>

## ■ 具体的な取組内容 ■

コープさっぽろでは、2005年に環境方針を定め、環境配慮の取組を進めて参りました。環境方針では、事業を通して北海道の豊かなくらしと持続可能な環境保全型の社会づくりに寄与することを目標とし、具体的な行動のひとつとして、「電力・燃料等のエネルギー資源を効率的に使用し、地球温暖化防止に寄与する」ことを掲げております。また、東日本大震災以降は、北海道で事業をする生協として「北海道のサステナブル（持続可能）な社会を目指し、①北海道での循環型の経済を推進する。②エネルギーと食料の自給率を高めること」を念頭に、自然エネルギーの研究を進めて参りました。そのひとつとして、2013年に帯広市2箇所に計1.94MWのメガソーラーを市民メガソーラーとして建設し、現在実際に売電を行っております。

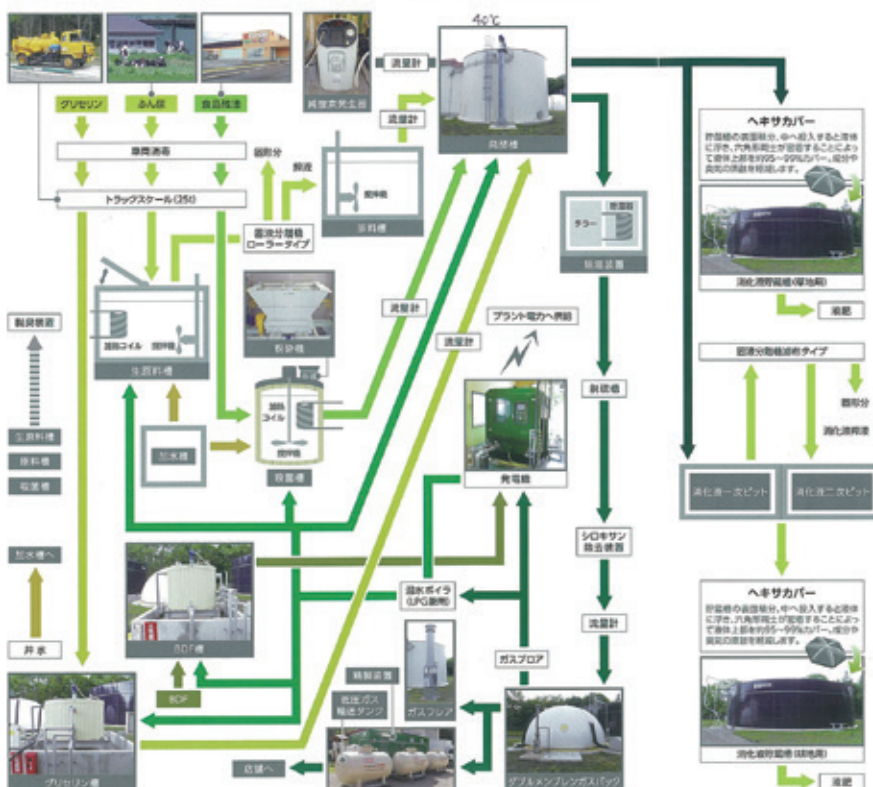
バイオガスプラントは同じく2013年に函館の七飯地区に建設し、これまでNEDO様との共同研究を行ってきました。これは、大沼の環境保全も念頭に地元の酪農家から牛糞を集める他、函館市内店舗で発生する「食品残渣」を自社便で回収し、バイオガスプラントでバイオガスの発生と液肥の製造を行っています。バイオガスは現在プラント内で活用していますが、函館市内の店舗、生産工場へ運搬し、エネルギーとして活用する予定です。また、できあがった液肥は酪農家の他、農業生産者で活用して頂き、生産された野菜を店舗で販売する予定です。



バイオガスプラント



メガソーラー



## ■ 評価 ■

地域の複数店舗の食品残渣の回収、牛糞の回収による地域環境保全、液肥を地域の農家で活用するという地域内ループの構築等、自社の廃棄物処理を超えた取組をしている点、また、BDF製造時の副産物（グリセリン）をバイオガス化プラントに加え、ガス発生量を増加させる工夫等を評価した。